

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校

利用児童数

26

回収数： 23

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからぬ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4	1	0	2歳児の子供にとってボール遊びも出来るスペースがあるのでいいと思います。年齢が上がった際に狭く感じるおそれもあるかもと感じました。	・法令順守したスペースは確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	1	複数の方と接する事が出来るので子供にとっても有り難いと思います	・法令で必要とされる配置数に加え、保育士・心理担当職員を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	8	0	0		・個別スペースを確保しつつ、密室にならないように配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2	0	0	子供にとって危ない物がなく感じられるので安心できます	・エアコン交換の検討をします。・毎朝清掃時、支援終了時に机、椅子、ドアノブ等の消毒をしております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	1	子どもの言葉や指先の発達が進むように興味ありそうなもので対応してくれている感じます。	・相談支援事業所と連携し、発達段階にあった支援計画を提供しております。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1	子どもにあった内容で考えて頂いてるかなと思います。	・玄関入口にガイドラインがありますのでいつでもご覧ください。
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	21	1	0	1		・半年に一度のモニタリングを行い、計画の見直しをし、1人1人には個別支援計画を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	1		・玄関入口にガイドラインがありますのでいつでもご覧ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		・半年に一度、モニタリングを行い、計画の見直しをし、最新の支援計画に沿って支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	3		・毎支援、1人1人には個別支援計画を作成し、小集団やイベント等を取り入れ、固定化されないように工夫しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	1	5	保育所に通っており、同じ年齢のこと過ごしています	・ご要望があった場合には、すぐに連携を取る体制を整えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		・契約時、モニタリング時に加え、入口に掲示しております。いつでもご覧ください。
保護者への説	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		・契約時、モニタリング時に支援計画書を示しながら支援内容の説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	0	1	5		・募集案内をカウンターに掲示、対象年齢児の保護者様へご案内しております。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	0	1		・毎支援中や支援後に十分なフィードバックを行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	0		・学校や家での様子を定期的に聞く機会をフィードバック時に設けております。困りごと、心配ごとがございましたらいつでも気楽に声をかけてください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	2	6	どんな活動があるか把握していない為	・保護者会や勉強会等を開催しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	0		・ご希望があれば事業所内相談を行います。ぜひご活用ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	6	1	4		・ブログ、LINE、インスタグラム等で事業所情報を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	2		・個人情報の取り扱いを厳守しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	0	0	やっている事は把握していますが子供が小さすぎて訓練になっているかがわからないです	・月に一度防災訓練を行っております。11月には、お子さんと実際に避難所へ歩く訓練を行いました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	2	訓練はしていると聞いたがどんな感じで訓練が行われているかは把握出来ていません	・上記に加え、消防士による防災訓練、救命講習への参加を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	6	この事例がないので、分からぬ。事故が起きていない為	・緊急連絡先カードの記載を行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	2	0	0	最初は緊張していましたが笑顔がたくさん出てきていたのでスタッフさんに有り難く思います。	・今後も安心して支援を提供できる環境づくりに励んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	2	1	1	帰宅する時に帰りたく無くなって泣いたりするほど楽しんでいると思います	・個別支援のみならず、集団支援やイベント等を開催し、楽しみに来所していただけるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	2	0	1		・今後も満足いただけるよう、努めて参ります。

## 従業者向け

## 児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令順守したスペースは確保されています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令で必要とされる配置数に加え、保育士・心理指導担当職員を配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・事業所が2階となっておりますが、室内はバリアフリーになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃（除菌シートでの拭き掃除）はもちろん、空気清浄機・加湿器を常に稼働させています。季節の変わり目には、エアコン、扇風機などの清掃を行っています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・基本個別療育ですので、個別部屋になっています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・朝のミーティング時に振り返り、注意点、改善点を全員で周知するような機会を設けています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からのアンケート結果は前職員で回覧し、意見交換等しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝のミーティング時やその都度機会を見つけて把握に勤め、業務改善に繋げています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は行っていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内の研修は整備され、それぞれの職員に合った研修や全員参加も行っています。 ・外部研修はそれぞれが希望する研修に参加しています。
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムはR7.1月より公表されています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・年度初めに全員に毎年、アセスメントシート記入をお願いし、支援計画にいかしています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援終了後の担当者のフィードバック時や、児発管による窓口での聞き取り等を行い、かかわる職員の共通理解の元、計画を作成している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画に沿って支援を行っています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・NCプログラム、コグトレなどを支援プログラムに取り入れています。

適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・モニタリング後、最新情報に沿って個別支援計画を立てています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・特にチームは設けていないが、活動プログラムで分からぬ点や疑問点があれば、相談し、打ち合わせ時に確認をしています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・個別支援のみに拘わらず、季節のイベントや小集団療育も取り入れています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・年少児、年中児は月1回、年長児は月2回小集団療育をおこなっています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、職員全員でミーティングを行っています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎支援後に打ち合わせ行えないが、支援においての疑問点や困り事があれば隨時確認しています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援予定の登録、その後、記録を記入する順番で、目に見える形で徹底しています。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年ごとにモニタリングを行い、計画の見通しの判断をしています。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的には児童発達支援管理責任者、担当指導員も出来る限り、参加するようにしています。
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・現在該当するお子さんはいませんが、体制は整えています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・サービス担当者会議にて情報共有をしています。また、園訪問、学校との情報共有を積極的に行っています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・相談事業者や園の先生と連携を図っています。
	28 (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・積極的に連携を図り、必要であれば助言などを受ける機会を設けています。

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・検討はしてはいるが、個別支援であり、なかなか時間調整とか難しい課題があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・毎支援、基本的に見学に入っていただき、支援の様子を見ながら、随時共通理解を持っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・年に1回、し市主催のペアレント・トレーニングを案内しています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・契約時に説明をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・半年に一度モニタリングを行い、事業所内相談の場を設け、助言・支援を行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・児発管が説明し同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・毎支援後、モニタリング時など、その都度困っていることを伺い、助言・支援に繋げています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・不定期に保護者会を開いて、話し合う機会を設けています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・随時、事業所内相談を行える体制をとっています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・LINEやブログ、インスタグラムなどで随時情報を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・個人情報の取り扱いについて職員全員徹底して注意しています。
非常時等の..	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・特性に応じ、必要な場合は視覚的にわかりやすく示すなどの配慮をしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・町内の公民館をお借りして人形劇を開催した時、近隣住民にも声掛けを行いました。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・一月に一回、防災訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・毎月行っている防災訓練後、事業所内の点検を行い、防災リュックや備蓄品のチェックを行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・面談時に確認を行っています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・当事業所では、食事提供は行っていませんが、非常時を想定した緊急引き渡しカードにアレルギーの有無の記載をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・安全計画に沿って安全管理を行い、職員全員に周知しています。

対応	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・年に一回、保護者も一緒に避難場所まで歩く訓練をしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事例があった際には速やかに記載し、全体に回覧し周知をしています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会にて、年に1回以上の研修を実施しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に重要事項説明書として説明し、個別支援計画に記載しています。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校			
○保護者評価実施期間	2025年11月11日 ~ 2025年12月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様に支援計画（5領域も含めて）について、理解・周知に努めていること。	・契約時、モニタリング時はもちろんのこと、計画について丁寧に説明していること。 ・来所時にお子様の様子を聞き取り、皆で共有していること。	・園訪問、保育所等訪問、学校との連携などを進めること。
2	・お子様が安心感を持って通所してくること	・事業所内全員とお子様との信頼関係を作っていく事、挨拶、何気ない言葉掛け、行動を認め褒める事。	・明るい対応やお子様に対しての共通理解を進める。
3	・活動・生活空間、環境が清潔で整っていること	・毎日の掃除、消毒、椅子、机の配置、ドア解放時の印象に気を配っている。	・更に一人ひとりが意識して清潔、整備に心がけること。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・色々な園や事業所、地域の他児との関わりが少ないこと。	・個別支援にあてる時間が1時間なので、関わるタイミングが確保できない。	・他事業所の他児を巻き込んだイベントの計画。
2	・生活・活動空間としては、放課後デイサービス向き（園のような温かみはない）	・事業所が2階であること。 ・利用児の気持ちが落ち着くように掲示物は最小限。	・物件を探してみたが、適当なものを捜すのは難しい。
3	・非常時との対応について周知が足りないこと。	・玄関先に掲示しているのみなので、気づく保護者とそうでない保護者がいるのではないかと思われる。 ・事故そのものの発生がない。	・掲示物場所の移動もあるが、壁面の掲示物が多すぎ、工夫が必要。